

2019年10月25日 第3311回例会

於： 横須賀商工会議所

<点鐘・開会> 12:30 田邊 会長

<斉 唱> 「我等の生業」

<地区大会長寿会員表彰>

*吉井 貫 *高橋 秀行 *上林 茂
*太田 陽三 *波島 顕明 *徳永 良輔
*村瀬 賢正



各会員

<同 R財団メジャードナー表彰>

*長尾 和典 (Level 2)

*高橋 隆一 (Level 1)



<委員長報告> *鈴木 (孝) 副幹事より ホノルル国際大会のご案内

*V T T特別委員会山下副委員長より 前回例会における報告事項の訂正とお詫び

<出席報告> *出席委員会 長尾委員長より10月25日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数	欠席数	メイクアップ数	出席率
118名	99名	42名	12名	11名	65.00%

<ニコニコ報告>

- ・三 役 地区大会の報告宜しくお願い致します。
- ・瀬戸、澤田、波島、長尾、高橋 勲、岡田、上林、鈴木 勲、前田、飯塚 各会員
去る20日、相模大野で開催された地区大会に出席してきました。詳細は後程の報告をお聞きください。
- ・齋藤 眞、田中、大竹、松本 勲、前川、谷、勝見、江沢、齋藤 勲、勝間、根岸、Enora 各会員
地区大会には出席できず申し訳ありませんでした。本日の報告、粛々と伺います。
- ・齋藤 眞 会員 今日カレーが余りそうですね。八巻さん豊司さんよろしく願いいたします。
- ・植田、鈴木 豊、梁井、小山 勲、高橋 勲 各会員
角井さ～ん！勝ち組の証、真っ赤な外車がいつも間にか青くなってますねえ。しかも大きな文字でMEGANE (メガネ) って書いてます。何か思うことあったんですか？
- ・角井 会員 赤い車については、みなさまから「若いね～」という評価をいただきましたが、大人としての深みを出すために今回は青にしました。「MEGANE」と書いてメガヌと読みます。ご愛顧の程お願いいたします。
- ・齋藤 眞、田邊、北村、八巻、角井、藤村、鈴木 豊 各会員 写真をいただいて。

1. 会長（会長幹事会・R I会長代理御夫妻歓迎晩餐会報告）

田 邊 一 三

国際ロータリー第2780地区・2019-2020年度地区大会に参加いたしましたので、参加報告をいたします。

当横須賀ロータリークラブより30名近くの会員の皆様にご参加をいただきまして、ありがとうございます。

地区大会一日目、2019年10月19日（土）13時30分より会長幹事会が開催され、出席いたしました。杉岡芳樹ガバナー点鐘の後、ロータリーソングの斉唱・開会の言葉・ガバナー挨拶・R I会長代理紹介・パストガバナー、地区役員、ガバナー補佐、地区委員長紹介が行われ、その後若林紀夫R I会長代理からご挨拶をいただきました。

14時05分より、四種委員会報告として、登録委員会の佐野英之委員長・資格審査委員会の脇洋一郎委員長・選挙委員会の大谷新一郎委員長・決議委員会の田中賢三委員長より、それぞれ報告がありました。その後杉岡芳樹ガバナーによる大会決議採択が行われました。

その後、2018-2019年度の地区決算報告が城田英昭直前財務委員長より、また、監査報告が関野直前監査委員より行われ、杉岡芳樹ガバナーの下、決算の承認が行われました。

14時25分より、地区委員会報告が以下の12の地区委員会より行われました。

- *地区戦略計画委員会（相澤光春委員長）
- *地区研修委員会（大谷新一郎委員長）
- *地区危機管理委員会（笠原又一委員長）
- *姉妹地区委員会（佐野英之委員長）
- *地区クラブ管理運営委員会（市川洋委員長）
- *地区会員増強・会員維持委員会（三澤京子委員長）
- *地区奉仕プロジェクト委員会（小野良太郎委員長）
- *地区青少年奉仕委員会（清水寿人委員長）
- *地区ロータリー財団委員会（田中賢三委員長）
- *地区米山奨学・米山学友委員会（常盤卓嗣委員長）
- *オンツォー・ホノルル国際大会委員会（久保田英男委員長）

一人当たり3分の報告があり、15時の閉会点鐘で会長幹事会は終了しました。

その後15時30分よりクラブリーダーセミナーが開催されましたが、その報告は岡田会長エレクトにお譲りします。

17時30分よりR I会長代理御夫妻歓迎晩餐会が盛大に行われました。初めにアトラクションとして『歌の夕べ』と題して、劇団四季で活躍中の声楽家である青柳歌奈さんの美声とピアノとバイオリンによるサラ・ブライトマンなどのお馴染みの曲でひと時をその歌声に酔いしれました。乾杯に続き、田中作次元R I会長の来賓挨拶があり、大変盛り上がった晩餐会でした。恒例の「手に手つないで」のロータリーソングを全員で斉唱して終了しました。

2. 会長エレクト（クラブリーダーセミナー報告）

岡 田 英 城

クラブリーダーセミナーにつきましては、10月19日（土）15時30分より、小田急ホテルセンチュリー相模大野で90分の内容で開催され、田邊会長、加藤情報委員長、八巻会員と私4名で参加をしてまいりました。

最初に1時間程度、地区大会にR I会長代理で来られました第2660地区パストガバナーである大阪東ロータリークラブの若林紀男様による「あなたにとってロータリーとは」の講演があり、その後ロータリー財団学友の高橋法子さん、米山学友の宋（そん）一大さん、青少年交換（ROTEX）の三橋まなみさんからそれぞれ10分間のスピーチがありました。

若林R I会長代理の講演について報告させていただきます。若林R I会長代理は、昭和16年2月生まれで現在78才、アーチ・クランフ・ソサエティの会員でもあり、また公益財団法人ロータリー米山記念奨

学会副理事長を務められています。講演題名は、「あなたにとってロータリーとは」ですが、「自分にとってロータリーとは」という内容で講演をさせていただきたいということと、米山記念奨学会副理事長の仕事として、小沢名誉理事長からは「会員の寄付で成り立っているこの米山奨学会のお金は1円でも無駄に使わないよう。」と日頃から言われているので、そのことを頭に入れて活動をさせていただいているということから講演が始まりました。

父親が早くに亡くなられたということで大学卒業後、家業でもある会社にすぐに入社し、家業を継いでいた兄と一緒に仕事をされていましたが、その兄も37才の若さで亡くなられ、30才になる前に会社の代表となりました。まわりの番頭さんはじめ、多くの従業員の方から非常に大事にされていたのだと思いますが、他人の飯も食べてなく、世間知らずでは困るということで大阪青年会議所に入会されたそうです。その後40才で青年会議所を卒業され、やはり青年会議所の先輩からロータリーに誘われ入会をされ、そこから現在に至る37年に及ぶロータリー活動が始まりました。入会1年～5年目は130名くらいの会員がいるクラブで、いろいろな方が在籍しており非常に自分自身のためになったということでした。6年～10年目になると委員長などの役職をするようになり、活躍する場が増えていったということです。11年目からは、クラブのことも考えられるようになり、18年目の59才でクラブ会長をされました。ロータリーは、人との出会いが財産であり、奉仕を通じた活動が学びの場であり、仲間を誇りに思い、そのロータリーという輪の中にいることが喜びとなり、自分自身も少し成長したのではないかと話され今も学んでいると話されていました。ロータリーは楽しくないといけないとも言われていました。仕事においてもロータリー活動においても何事もチャンスととらえ、チャレンジを通して楽しいものに変えていくことが必要ではないかと力説されていました。

大阪東ロータリークラブには、40もの同好会があるということです。ゴルフなどは、百獣（110）の王の会、猛獣（110にもう10）の会があり、またヒゲの会というものもあり、10数名の方が会員で規約もあるそうです。退会・除名規約もあり、ヒゲがなくなったら退会か除名だということです。しかし、抗がん剤などでヒゲがどうしてもなくなってしまうこともあるということでもかなり真剣に議論した結果、例会には付け髭をつけて参加するという規約をつかったということです。クラブの雰囲気が目に浮かぶようです。

最後にロータリアンは、ロータリー博士になることが目標ではなく、一人ひとりがクラブを活性化することを目的に、リーダーは、その環境をつくるのが重要なので「がんばってほしい。」という言葉で締めくくられました。

続いて、ロータリー財団学友の高橋法子さんのスピーチを報告します。高橋さんは、ロンドン大学に公衆衛生学を学びに留学をされました。日本の公衆衛生学は、江戸時代が平和だったということで大きな問題が発生しなかつたので遅れているとのことでした。ロンドン大学は公衆衛生学プログラムが体系的に整っているということで、アフリカの学生を筆頭に世界中から学問を学びに来ており、この留学が人生の中で大きなターニングポイントであり、本当に勉強されたということです。出産をして今でも頑張っているのもその時の仲間がみんながんばっていると思うと自然に頑張る力がわいてくるということでした。最後にこの経験をこれからの財団奨学生・財団学友に伝えていきたいと締めくくられました。

次に、米山学友の宋さんのスピーチを報告します。現在2780地区には12か国29名の奨学生が在籍しております。宋さんは、韓国からの留学生で医学博士を取得され、学友代表を務めています。学友・奨学生からの意見で一番大きいのがアルバイトなどをしなくてすむようになり、環境がいいスパイラルに変わり勉強ができるようになったという意見が多いのと、社会奉仕という概念を学ぶことができ、この経験を生かして母国と日本の架け橋になりたいという米山学友・奨学生が多いと言われその中心的な役割を果たしたいと言われていました。

最後にROTEXの三橋まなみさんのスピーチを報告します。今年の7月にドイツから帰国したということですが、いきなり流暢なドイツ語で挨拶をされました。ドイツ語で苦労されたということでしたが、言葉はコミュニケーションの手段だということ認識してからすごく積極的になられたということです。世界中から集まった留学生と友達になれ一生の友人ができ、ドイツの文化（食事は朝からディナーではないかと思うくらい）も、ホストファミリーの皆さんはじめ多くの方から学び、感謝の言葉しかないということでした。また、逆に日本の親へ改めて感謝しなければと心深く思ったそうです。最後にこの経験を今後を生かしたいという強い思いと後輩たちにも伝えていきたいという言葉で締めくくられました。

若林R I 会長代理をはじめ3名のスピーチを伺い、「ロータリーがきっかけで…」、「ロータリーを通して…」、「ロータリーの仲間と…」、「ロータリーの人たちの支えで…」という言葉をよく伺いました。

私たちのクラブも様々な交流または事業をしていますが、やはり横須賀ロータリークラブがいつまでも元気であることが重要だと強く思いました。会員ひとりひとは職業も環境も違い奉仕の仕方はいろいろ違うかもしれませんが、120名近い会員がいる横須賀ロータリークラブの存在がひとりひとりの会員をはじめ、係わるすべての人に力・元気をこれからも与え続けられる存在だと改めて感じさせていただきました。

3. インターアクト委員長（新世代交流会報告）

高橋 隆一

地区大会2日目の10月20日9時30分から、小田急ホテルセンチュリー相模大野8階で行われた新世代交流会に参加してきました。

今年のテーマは、「いのちの持ち物けんさ」で、国連UNHCR協会から中村恵さんをファシリテーターとしてお迎えして、平和フェロー、財団学友、ローターアクト、インターアクト、青少年交換学生、米山奨学生、ロータリアン、30テーブル約150名でワークショップを行いました。

当クラブからは、藤村副会長、渡邊幹事、佐久間会員、北村会員が参加しておりました。

国連UNHCR協会とは国連難民高等弁務官事務所の活動を支える日本の公式窓口です。中村恵さんは当地区より財団奨学生としてフランスへ派遣されており、アシスタントの慶応大学松下さんも西鹿児島ロータリークラブと係わりがあり今回の新世代交流会を楽しみにされていたそうです。

杉岡ガバナーのご挨拶に続いて、ワークショップが始まりました。テーブル毎の各自の自己紹介から始まり、赤黄青の三色の囲みの中に

「赤 いのち、健康な身体、家族、友人、故郷」

「黄 国籍、社会的地位、在籍する団体、名前、資格、教育、知識」

「青 衣服、靴、眼鏡、本、パソコン、携帯電話」

と書いてあり、これらが失われた時にどうなるかを話し合いました。

今回のワークショップでは世界の一員としてあなたに出来る事は何か、今の自分、将来の自分、みんなの力を合わせて出来る事を見つめなおす時間だったと思います。

約40分のミーティングと発表の後、現在の難民のビデオを10分見ました。

中村さんが最後に、「ロータリーを通じてこれからの希望を託されたことを感じている」と話されていました。

最後に、大谷パストガバナーより講評があり、「日本は安全安心な国ですが、世界にはそうではない国も多く支援の必要性を改めて感じた、ワークショップがロータリーの意志と同じだと感じた。ここに集まっている新世代の人々が奉仕の精神を持って頂きたい。」とのお話がありました。

参加した感想として、自分の周りから何かが無くなった時を考えた時、日本は恵まれた国であり現時点でも世界のどこかで紛争難民が発生している現実。その中で我々がどのように支援、奉仕をしていけるかを考えることが出来た時間だったと思います。

4. 公共イメージ担当役員（全体会議・懇親会報告）

瀬戸 映男

2019年10月20日に行われた全体会議では、杉岡ガバナーの点鐘から始まり、国歌斉唱、そして韓国から来日した韓国ロータリアンが韓国国家「愛国歌」を歌い、会議が始まりました。

ロータリーの「公共イメージ」については、「公共イメージと認知度の向上」の推進のため、インターネットやあらゆる広報の機会を活用することを地区並びに各グループ、クラブで推進することを決議いたしました。

記念講演は、ジャーナリスト・国家基本問題研究所理事長である櫻井よしこ氏による「女性が輝く時代」というテーマで行われました。講演の内容は、国防、外交、憲法、教育、経済などの幅広いテーマに及びましたが、韓国問題、皇室問題にも触れ、氏独自の考えを述べておられました。

18時15分からは、「大懇親会」が小田急センチュリーホテルにて開催されました。冒頭の乾杯の挨拶は、当横須賀クラブの元R I 理事である小沢一彦氏によって行われ、大懇親会がスタートいたしました。その後、大懇親会に出席した横須賀ロータリークラブの会員と壇上に上がり、小沢元R I 理事と一緒に記念撮影をいたしました。

5. 新会員（全体会議・懇親会報告）

中 村 英 明

私は、入会3年未満の新会員として参加してまいりました。第2780地区の地区大会には初めて参加させていただきましたが、前任の第2690地区については、倉敷ロータリークラブに在籍していた際に参加したことがあります。第2690地区は、岡山・鳥取・島根という3つの県にまたがる地区なのですが、神奈川西部である第2780地区の盛会ぶりに触れ、規模感の違いを目の当たりにしました。今回、地区大会に参加することで第2780地区のあり方を再認識することができました。新会員の皆様の中で地区大会に参加されたことのない方がいらっしゃいましたら、次年度以降ご参加いただければと思います。

6. 幹事（全体会議2日目報告）

渡 邊 磨

今年度の当クラブからの地区大会参加者は30名に届かず少し寂しかったのですが、全体会議では櫻井よしこさんの講演、そして最後の大懇親会までご参加いただいた皆様には“ONE TEAM”でとても楽しめた1日だったのではないかと思います。

報告につきましては、詳細をご出席いただいた皆様をお願いしておりますので、私からは、2日目の新世代交流会から大懇親会まで、カメラ片手に一日撮影をして参りましたので、写真をご覧いただきながら地区大会の様子をお伝えしていきます。

【スライドによる写真紹介】

本会議の最後には次年度ホストクラブから、次年度地区大会は2020年10月18日（日）鎌倉芸術館で行われる予定なので、皆様是非ご参加下さいとご挨拶がありました。合言葉は“いざ、鎌倉”です。

<閉会・点鐘> 13:30 田 邊 会長

週報担当 角 井 駿 輔